

3号機 原子炉格納容器内取水設備に関わる対応状況について

2021年11月25日

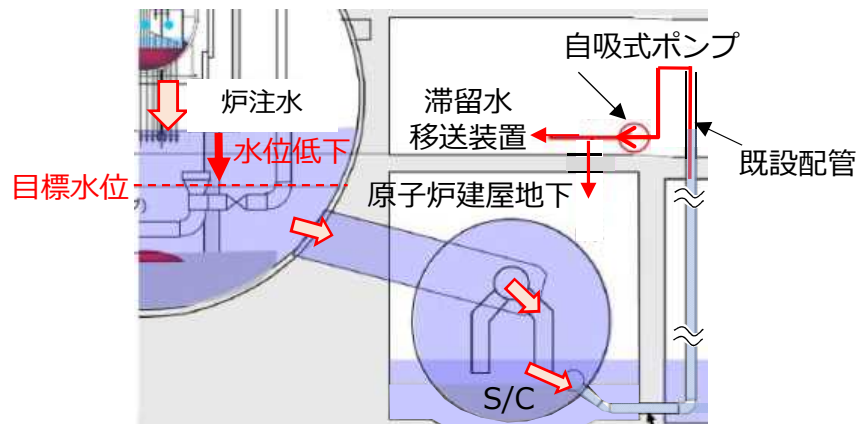
TEPCO

東京電力ホールディングス株式会社

1. 概要

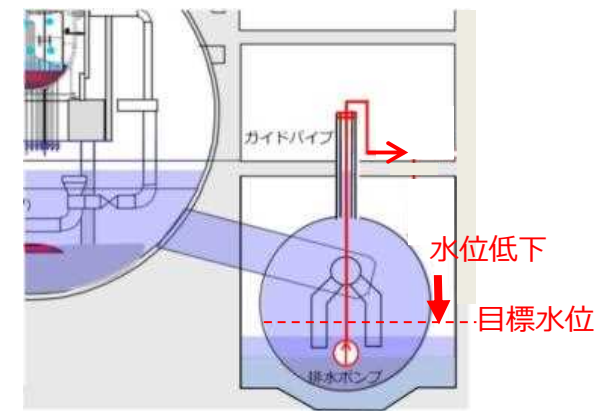
- 現状，耐震性向上策としてPCV(S/C)水位低下を行うため，以下の通り段階的に水位を低下することを計画。
- ガイドパイプ設置等（ステップ2）に先立ち，現状水位（R/B1階床上約1m）をR/B1階床面以下に低下（ステップ1）する。
- ステップ1では、S/C下部に接続する既設配管を用いて自吸式ポンプによる取水を計画。

ステップ1（目標水位：R/B1階床面以下）



既設配管を用いたS/C内包水の取水イメージ

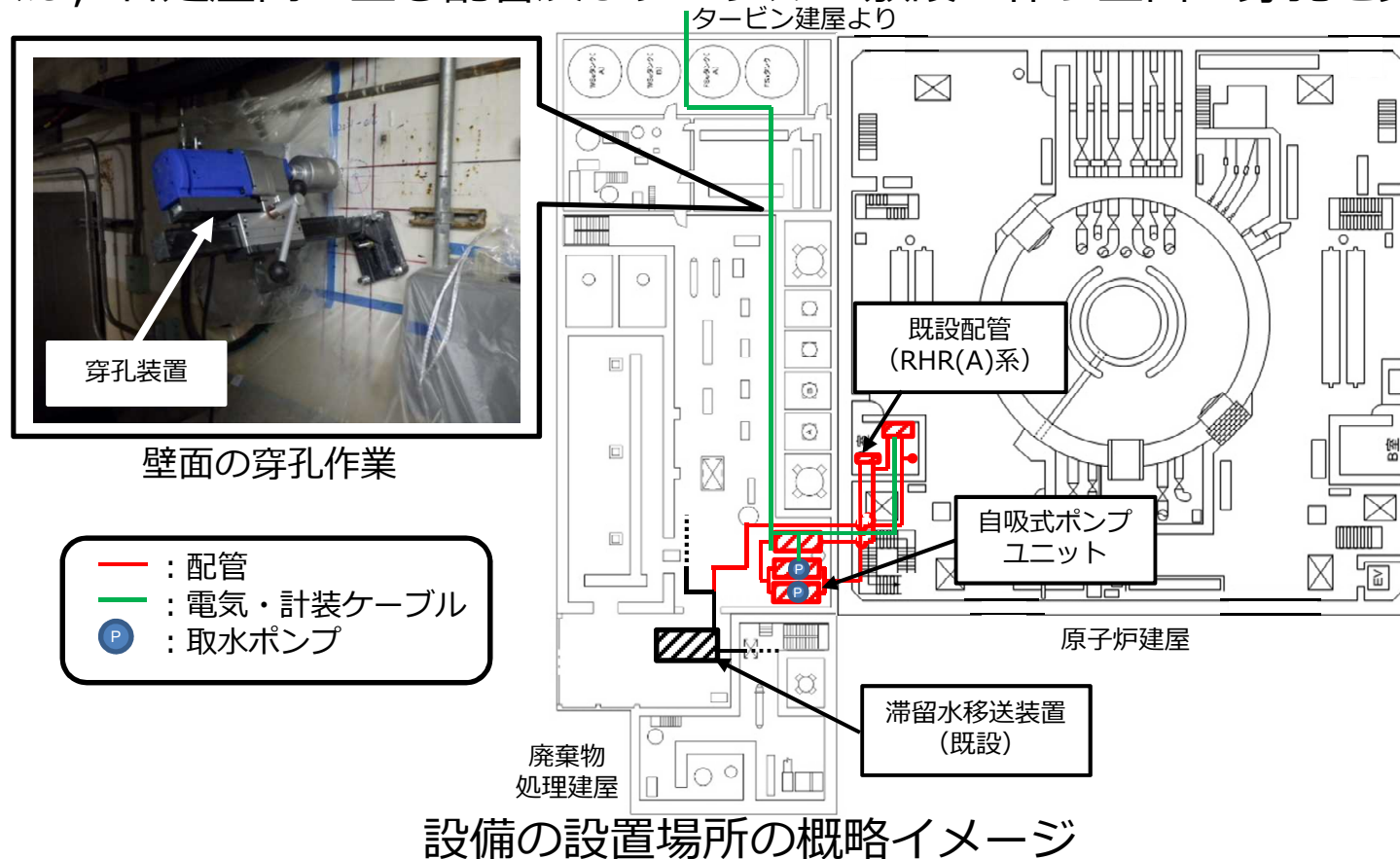
ステップ2（目標水位：S/C下部）



ガイドパイプによるPCV(S/C)からの取水イメージ

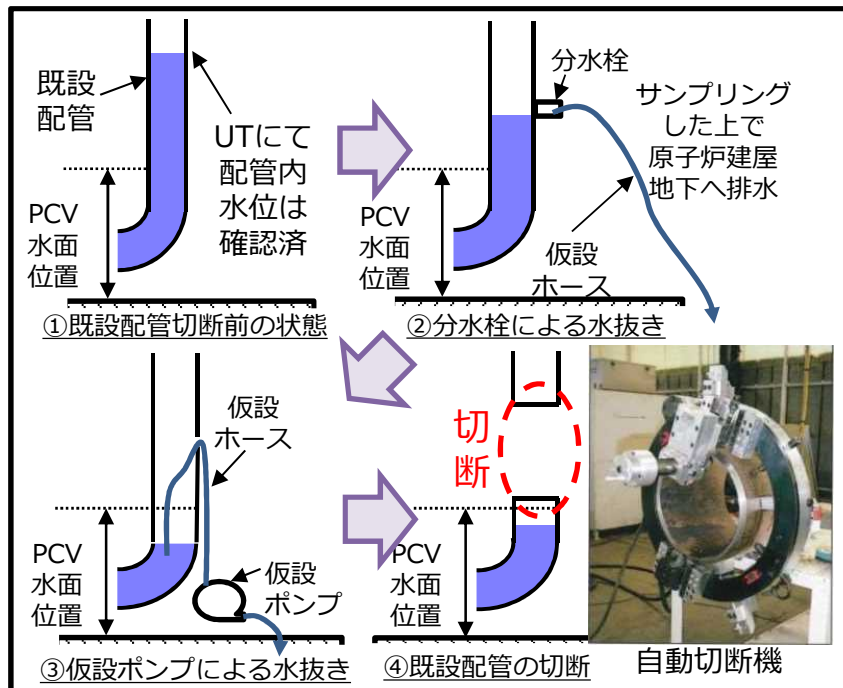
2. これまでの状況について

- 2021年7月末に取水設備設置に関わる実施計画変更申請が認可。機器製作や現場の環境整備等を進め、2021年10月より設備設置の現場作業を開始。
- 取水設備は、3号機原子炉建屋の既設配管（RHR(A)系）より取水し、原子炉建屋地下又は既設の滞留水移送装置へ送水。設置場所の線量等も考慮し、主な設備は3号機廃棄物処理建屋に配置する計画。
- 現状は、各建屋間に亘る配管及びケーブルの敷設に伴う壁面の穿孔を実施中。

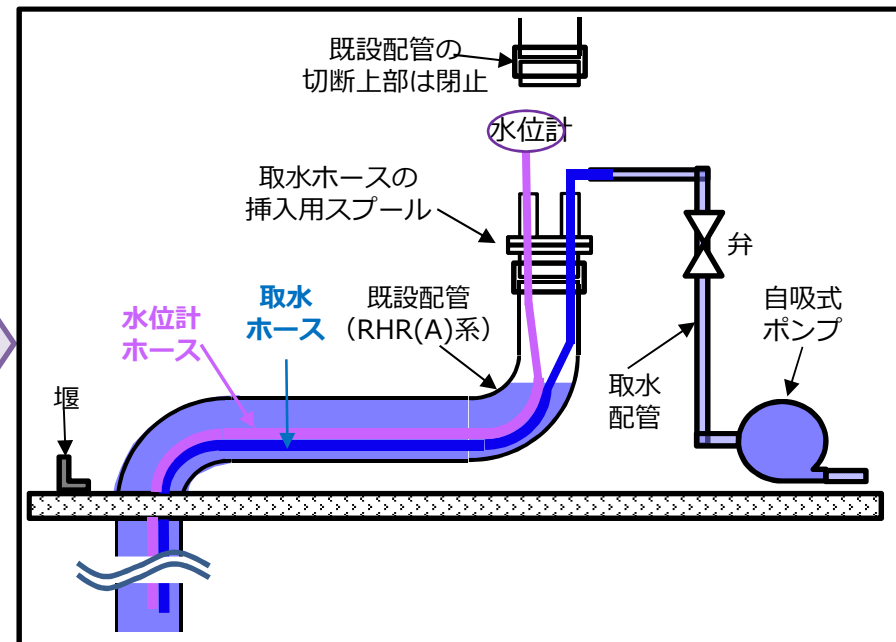


3. 今後の作業について

- 壁面穿孔作業完了後、既設配管に取水点を構築する。分水栓及び仮設ポンプによる水抜きを行った上で、既設配管を切断し、取水ホース等の挿入を実施。
- 既設配管の水抜きの際は、既設配管内の水をサンプリングを行い、滞留水移送/処理に影響がないことを確認した上で、原子炉建屋地下(トールス室)へ排水。
- 被ばく低減のため、既設配管の切断は、自動切断機を用いて遠隔操作にて行う計画(12月～)。
- なお、切断部とPCVとの隔離(既設弁の閉操作)は実施済であるが、作業時は、PCV関連パラメータを確認しつつ慎重に行う予定。



既設配管切断の手順のイメージ



既設配管切断後の取水設備設置のイメージ

4. 今後の予定について

- 今後、既設配管における取水点構築を行った後、配管/取水ポンプ等の設置及び電気・計測ケーブルの敷設を実施の上、系統試験を行う予定。
- 取水点構築を12月中に終え、2021年度内の取水設備設置、2022年度明けからの運用開始を計画。

	2021年			2022年				
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	
①建屋壁面穿孔	■							
②取水点の構築			■					
③配管/ポンプ/電気・計装 品等の設置		■						
④試運転						■		